

7月20日(金)～24日(火)

<凡例>

- : 大気質調査地点
- ①: 敷地境界北側
- ②: 敷地境界東側
- ③: 敷地境界南側
- ④: 敷地境界西側
- : 建設機械配置地点番号

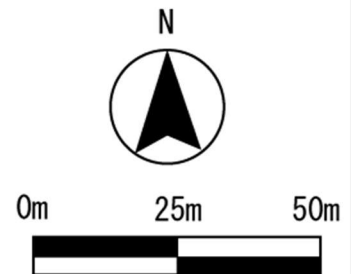
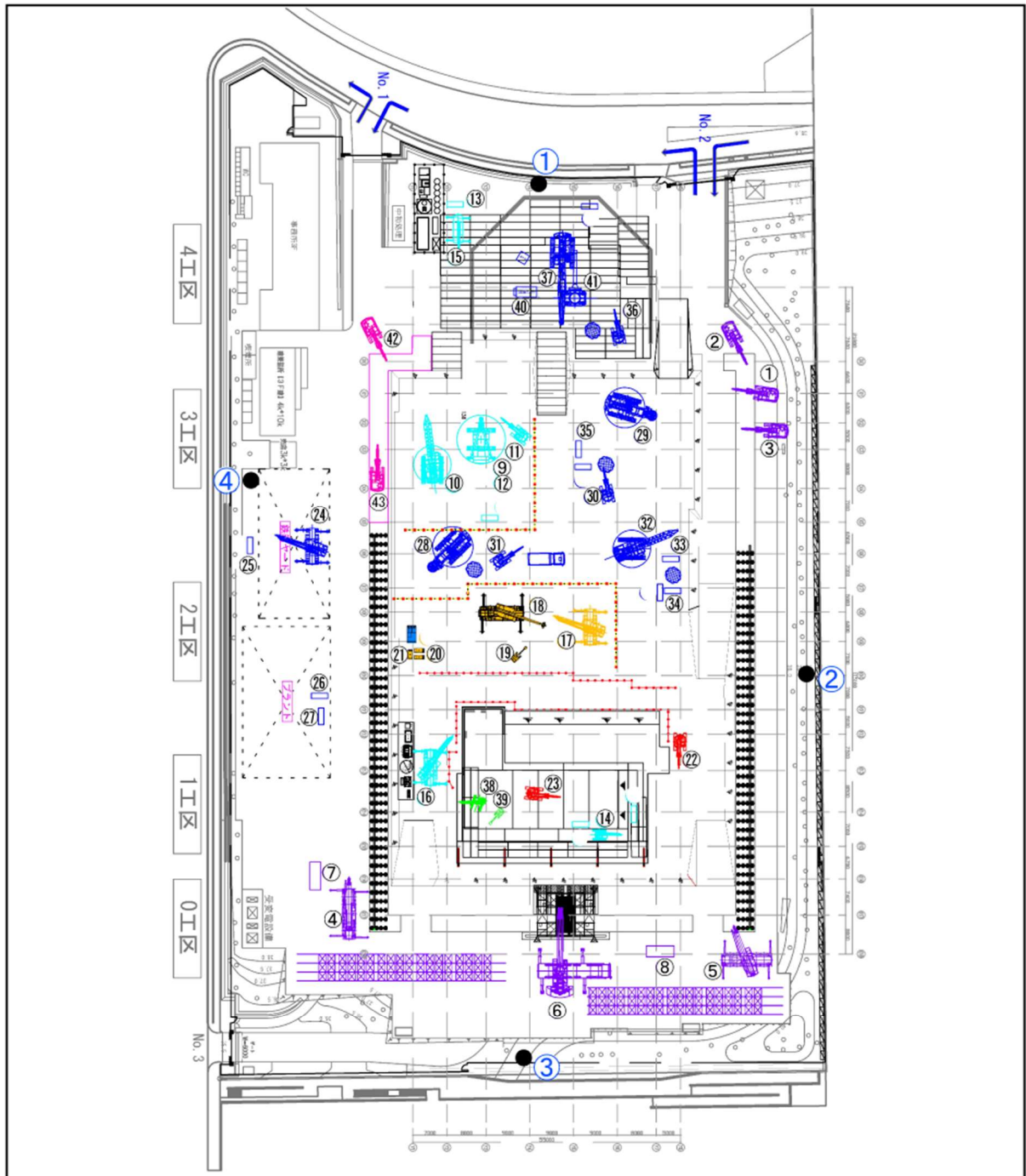


図 7(1) 建設機械の稼働状況



7月25日(水)～26日(木)

<凡例>

- : 大気質調査地点
 - ①: 敷地境界北側
 - ②: 敷地境界東側
 - ③: 敷地境界南側
 - ④: 敷地境界西側
- : 建設機械配置地点番号

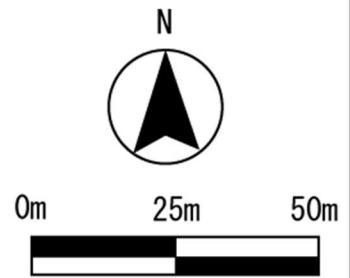


図 7(2) 建設機械の稼働状況

(ウ) 一般環境大気質（バックグラウンド濃度）

調査期間中の計画地周辺の一般環境大気測定局における、浮遊粒子状物質測定結果を表 10 に、二酸化窒素測定結果を表 11 に示す。

表 10(1) 浮遊粒子状物質測定結果
調査日（平成 30 年 7 月 20（金）～7 月 26 日（木））

単位：mg/m³

測定局・室名 調査日		①和光	②赤塚	③北野	④北町	⑤練馬
		7月20日(金)	0.019	0.019	0.016	0.013
1時間値の1日平均値	7月21日(土)	0.022	0.018	0.016	0.015	0.020
	7月22日(日)	0.030	0.027	0.028	0.025	0.030
	7月23日(月)	0.025	0.024	0.022	0.020	0.022
	7月24日(火)	0.039	0.037	0.039	0.033	0.040
	7月25日(水)	0.030	0.028	0.027	0.023	0.030
	7月26日(木)	0.016	0.015	0.013	0.011	0.017
	期間平均値	0.026	0.024	0.023	0.020	0.026
	日平均最大値	0.039	0.037	0.039	0.033	0.040
	環境基準	1時間値の1日平均値が0.10以下				
	1時間値の最大値	7月20日(金)	0.032	0.047	0.025	0.025
7月21日(土)		0.045	0.033	0.036	0.025	0.035
7月22日(日)		0.047	0.037	0.054	0.040	0.056
7月23日(月)		0.043	0.060	0.046	0.045	0.040
7月24日(火)		0.052	0.054	0.066	0.049	0.053
7月25日(水)		0.040	0.044	0.045	0.034	0.043
7月26日(木)		0.022	0.026	0.024	0.023	0.035
期間最大値		0.052	0.060	0.066	0.049	0.056
環境基準		1時間値が0.20以下				

注) 網掛は期間中の各地点の最大値を示す。

表 10(2) 浮遊粒子状物質測定結果
 調査日（平成 30 年 7 月 20（金）～7 月 26 日（木））

単位：mg/m³

測定局・室名		⑥豊玉北	⑦若宮	⑧石神井南 中学校	⑨石神井町	⑩大泉中学 校	全地点 平均
調査日	7月20日(金)	0.025	0.016	-	0.017	-	0.018
	7月21日(土)	0.032	0.018	-	0.020	-	0.020
	7月22日(日)	0.043	0.030	-	0.029	-	0.030
	7月23日(月)	0.035	0.023	-	0.030	-	0.025
	7月24日(火)	0.056	0.038	-	0.040	-	0.040
	7月25日(水)	0.034	0.027	-	0.031	-	0.029
	7月26日(木)	0.017	0.014	-	0.019	-	0.015
	期間平均値	0.035	0.024	-	0.027	-	0.026
	日平均最大値	0.056	0.038	-	0.040	-	-
	環境基準	1時間値の1日平均値が0.10以下					
1時間値の最大値	7月20日(金)	0.051	0.027	-	0.024	-	
	7月21日(土)	0.069	0.030	-	0.030	-	
	7月22日(日)	0.130	0.072	-	0.041	-	
	7月23日(月)	0.170	0.039	-	0.047	-	
	7月24日(火)	0.112	0.050	-	0.052	-	
	7月25日(水)	0.060	0.039	-	0.044	-	
	7月26日(木)	0.027	0.020	-	0.027	-	
	期間最大値	0.170	0.072	-	0.052	-	
	環境基準	1時間値が0.20以下					

注) 網掛は期間中の各地点の最大値を示す。

表 11 二酸化窒素測定結果

調査日（平成 30 年 7 月 20（金）～ 7 月 26 日（木））

単位：ppm

測定局・室名 調査日		①和光	②赤塚	③北野	④北町	⑤練馬	
		1 時 間 値 の 1 日 平 均 値	7月20日(金)	0.005	0.006	0.006	
	7月21日(土)	0.007	0.009	0.007	0.011	0.008	
	7月22日(日)	0.007	0.010	0.008	0.011	0.009	
	7月23日(月)	0.010	0.013	0.010	0.013	0.010	
	7月24日(火)	0.014	0.012	0.009	0.013	0.010	
	7月25日(水)	0.015	0.012	0.009	0.012	0.009	
	7月26日(木)	0.016	0.015	0.007	0.010	0.009	
	期間平均値	0.011	0.011	0.008	0.012	0.009	
	日平均最大値	0.016	0.015	0.010	0.013	0.010	
測定局・室名 調査日		⑥豊玉北	⑦若宮	⑧石神井南 中学校	⑨石神井町	⑩大泉中 学校	全地点 平均
		1 時 間 値 の 1 日 平 均 値	7月20日(金)	0.005	0.004	0.006	0.006
	7月21日(土)	0.006	0.006	0.008	0.008	0.008	0.008
	7月22日(日)	0.006	0.007	0.009	0.008	0.007	0.008
	7月23日(月)	0.009	0.008	0.010	0.009	0.012	0.010
	7月24日(火)	0.009	0.009	0.010	0.009	0.012	0.011
	7月25日(水)	0.009	0.009	0.010	0.009	0.012	0.011
	7月26日(木)	0.007	0.007	0.008	0.007	0.010	0.010
	期間平均値	0.007	0.007	0.009	0.008	0.010	0.009
	日平均最大値	0.009	0.009	0.010	0.009	0.012	-
	環境基準	1時間値の1日平均値が0.04から0.06までのゾーン内又はそれ以下					

注) 網掛は期間中の各地点の最大値を示す。

イ 工事用車両の走行に伴う排出ガスによる大気質の状況

(ア) 気象の状況（風向、風速、気温、湿度）

調査期間中の気象状況を表 12 及び図 8 に示す。

調査期間中の最多風向が WSW、期間平均風速が 1.2m/s、期間平均気温が 5.2℃、期間平均湿度が 35%であった。

表 12 気象調査結果（日平均）

項目 月日	平均風速 (m/s)	最多風向	出現頻度 (%)	静穏率 (%)	平均気温 (℃)	平均湿度 (%)	天候
1月23日(水)	0.7	S	16.7	33.3	5.8	44	晴
1月24日(木)	1.8	NW	37.5	0.0	5.9	28	晴
1月25日(金)	0.8	NNW	33.3	25.0	5.2	32	晴
1月26日(土)	1.7	NW	25.0	0.0	4.1	39	晴
1月27日(日)	1.3	WSW	33.3	20.8	4.4	34	晴
1月28日(月)	0.5	NNW	12.5	37.5	5.4	39	晴
1月29日(火)	1.9	WSW	37.5	0.0	5.7	30	晴
期間平均値	1.2	WSW	17.3	16.7	5.2	35	-

注) 期間平均値について、風速、気温及び湿度は日平均値の平均値を示す。

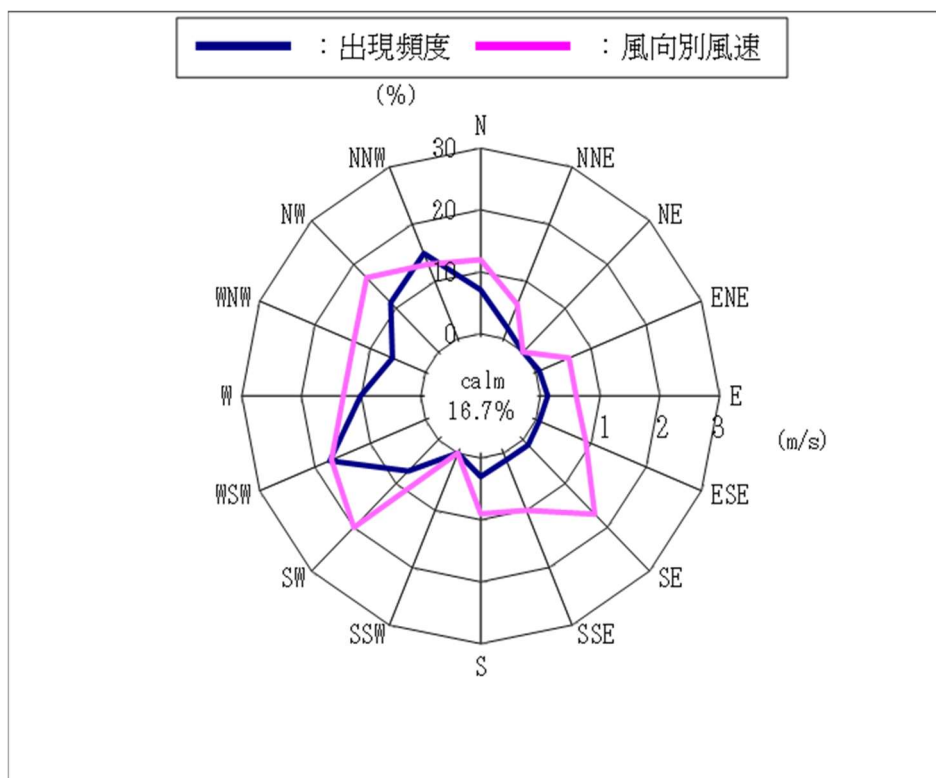


図 8 調査期間中の風配図

(イ) 工事用車両の台数及び断面交通量

交通量調査結果を表 13 に示す。また、各調査地点を図 4(p11 参照)に示す。

一般車両（工事用車両を含む）は、川越街道へ抜ける地点⑥赤塚新町三丁目では、大型車が 726 台/日、小型車が 6,902 台/日であった。また、笹目通りへ抜ける地点②光が丘パークタウン大通り前では、大型車が 1,247 台/日、小型車が 11,366 台/日であった。

なお、地点③光が丘春の風小学校、地点④光が丘第八保育園前では、工事用車両の通行はなかった。

表 13 交通量調査結果（一般車両）
（平成 31 年 1 月 28 日（月）6:00～29 日（火）6:00）

単位：台/日

地点名	一般車両			工事用車両			合計 (a)+(b)=(c)	工事用 車両 混入率 (b)/(c)
	大型 車	小型車	合計 (a)	大型 車	小型 車	合計 (b)		
① 旭町第二保育園前	964	7,726	8,690	7	12	19	8,709	0.2%
② 光が丘パークタウン大通り前	1,151	11,344	12,495	96	22	118	12,613	0.9%
③ 光が丘春の風小学校前	582	5,288	5,870	0	0	0	5,870	0.0%
④ 光が丘第八保育園前	1,252	12,782	14,034	0	0	0	14,034	0.0%
⑤ 光が丘第二保育園前	635	6,617	7,252	101	12	113	7,365	1.5%
⑥ 赤塚新町三丁目	619	6,890	7,509	107	12	119	7,628	1.6%

注 1) 大型車：普通貨物車（トラック、大型特殊）、バス

注 2) 小型車：乗用車、小型貨物車

注 3) 交通量は断面交通量である。

(ウ) 工事用車両の台数及び断面交通量の比較

工事用車両の交通量予測結果と事後調査結果の比較を表 14 に示す。

一般車両（工事用車両を含む）の大型車については、6 地点中 3 地点で予測を上回り、その他の 3 地点では予測結果を下回っていた。小型車については、6 地点中 3 地点で予測結果を上回り、その他の 3 地点では予測結果を下回った。また、一般車両（工事用車両を含む）の増減率は、-18.8%～+10.3%であった。

工事用車両の大型車については、6 地点中、地点②光が丘パークタウン大通り南前、地点⑤光が丘第二保育園前及び地点⑥赤塚新町三丁目の 3 地点で予測結果を上回った。その他の地点では、予測を下回った。

これは、予測では、川越街道、笹目通り及び南の生活道路を走行すると想定していた工事用車両が、実際は、受注者の指導により南の生活道路を避け、川越街道及び笹目通りを走行したためである。（図 4(p11)参照）

また、工事用車両の小型車については、それぞれの移動ルートを正確には示せないが、各地点の割合は極めて小さいため、どの地点でも著しく予測を上回る地点はないと推定される。

表 14 予測結果と事後調査結果の比較
(工事用車両の交通量調査結果)

単位：台/日

地点名	車種	一般車両 (工事用車両を含む)			工事用車両		工事用車両の割合	
		予測結果	事後調査 結果 (a)	増減率 (%)	予測 結果	事後調査 結果 (b)	予測結果	事後調 査結果 (b)/(a)
①旭町第二保 育園前	大型	1,066	964	-9.6	48	7	4.5	0.7
	小型	9,072	7,726	-14.8	3	(12)	0	0.1
②光が丘パー クタウン大通 り南前	大型	1,090	1,151	+5.6	52	96	4.7	8.3
	小型	11,963	11,344	-5.2	4	(22)	0	0.1
③光が丘春の 風小学校前	大型	695	582	-16.3	31	0	4.4	0
	小型	5,963	5,288	-11.3	2	0	0	0
④光が丘第八 保育園前	大型	1,135	1,252	+10.3	54	0	4.7	0
	小型	14,232	12,782	-10.2	5	0	0	0
⑤光が丘第二 保育園前	大型	779	635	-18.5	35	101	4.4	15.9
	小型	7,564	6,617	-12.5	2	(12)	0	0.1
⑥赤塚新町三 丁目	大型	762	619	-18.8	83	107	10.8	17.2
	小型	7,859	6,890	-12.3	5	(12)	0	0.1
合計	大型	-	-	-	303	311	-	-
	小型	-	-	-	21	(58)	-	-

注 1) 予測結果は評価書の p365 表 8.3.2-16(2)を引用した。

注 2) 工事用車両の () 内の数字は、移動ルートが不明な車両が全て通ったと仮定した数字とした。

(エ) 一般環境大気質（バックグラウンド濃度）

調査期間中の計画地周辺の一般環境大気測定局及び参考として自動車排出ガス測定局における、浮遊粒子状物質測定結果を表 15 及び表 16 に、二酸化窒素測定結果を表 17 及び表 18 に示す。

表 15(1) 浮遊粒子状物質測定結果（一般環境大気測定局）

調査日（平成 31 年 1 月 23 日（水）～1 月 29 日（火））

単位：mg/m³

測定局・室名		①和光	②赤塚	③北野	④北町	⑤練馬
調査日	1月23日(水)	0.020	0.019	0.018	0.016	0.017
	1月24日(木)	0.025	0.007	0.007	0.005	0.006
	1月25日(金)	0.015	0.010	0.010	0.008	0.010
	1月26日(土)	0.027	0.011	0.012	0.009	0.010
	1月27日(日)	0.013	0.008	0.007	0.004	0.005
	1月28日(月)	0.022	0.019	0.017	0.016	0.016
	1月29日(火)	0.056	0.016	0.016	0.011	0.015
	期間平均値	0.026	0.013	0.012	0.010	0.011
	日平均最大値	0.056	0.019	0.018	0.016	0.017
	環境基準	1時間値の1日平均値が0.10以下				
1時間値の最大値	1月23日(水)	0.032	0.037	0.038	0.031	0.023
	1月24日(木)	0.106	0.022	0.015	0.013	0.011
	1月25日(金)	0.032	0.024	0.019	0.019	0.020
	1月26日(土)	0.115	0.025	0.025	0.029	0.021
	1月27日(日)	0.057	0.017	0.016	0.012	0.007
	1月28日(月)	0.044	0.034	0.035	0.034	0.031
	1月29日(火)	0.243	0.025	0.030	0.024	0.025
	期間最大値	0.243	0.037	0.038	0.034	0.031
	環境基準	1時間値が0.20以下				

注) 網掛は期間中の各地点の最大値を示す。

表 15(2) 浮遊粒子状物質測定結果（一般環境大気測定局）

調査日（平成 31 年 1 月 23 日（水）～ 1 月 29 日（火））

単位：mg/m³

測定局・室名		⑥豊玉北	⑦若宮	⑧石神井南 中学校	⑨石神井町	⑩大泉中学 校	全地点 平均
調査日	1月23日(水)	0.014	0.017	-	0.016	-	0.017
	1月24日(木)	0.005	0.005	-	0.007	-	0.008
	1月25日(金)	0.010	0.009	-	0.010	-	0.010
	1月26日(土)	0.009	0.008	-	0.010	-	0.012
	1月27日(日)	0.004	0.004	-	0.006	-	0.006
	1月28日(月)	0.014	0.013	-	0.015	-	0.017
	1月29日(火)	0.011	0.014	-	0.019	-	0.020
	期間平均値	0.010	0.010	-	0.012	-	0.013
	日平均最大値	0.014	0.017	-	0.019	-	-
	環境基準	1時間値の1日平均値が0.10以下					
1時間値の最大値	1月23日(水)	0.027	0.024	-	0.025	-	
	1月24日(木)	0.012	0.009	-	0.014	-	
	1月25日(金)	0.024	0.021	-	0.018	-	
	1月26日(土)	0.023	0.021	-	0.019	-	
	1月27日(日)	0.014	0.007	-	0.012	-	
	1月28日(月)	0.027	0.026	-	0.029	-	
	1月29日(火)	0.031	0.024	-	0.051	-	
	期間最大値	0.031	0.026	-	0.051	-	
	環境基準	1時間値が0.20以下					

注) 網掛は期間中の各地点の最大値を示す。

表 16(1) 浮遊粒子状物質測定結果（自動車排出ガス測定局）

調査日（平成 31 年 1 月 23 日（水）～ 1 月 29 日（火））

単位：mg/m³

測定局・室名		⑪和光新倉	⑫三園	⑬相生町	⑭北町 小学校	⑮小竹	⑯くすのき 緑地	⑰高松 一丁目
調査日	1月23日(水)	0.018	0.019	0.017	-	0.020	-	0.014
	1月24日(木)	0.007	0.006	0.009	-	0.012	-	0.002
	1月25日(金)	0.011	0.011	0.014	-	0.014	-	0.008
	1月26日(土)	0.010	0.010	0.010	-	0.013	-	0.008
	1月27日(日)	0.006	0.006	0.007	-	0.011	-	0.002
	1月28日(月)	0.019	0.021	0.019	-	0.019	-	0.012
	1月29日(火)	0.015	0.014	0.014	-	0.018	-	0.012
	期間平均値	0.012	0.012	0.013	-	0.015	-	0.008
	日平均最大値	0.019	0.021	0.019	-	0.020	-	0.014
	環境基準	1時間値の1日平均値が0.10以下						
1時間値の最大値	1月23日(水)	0.028	0.032	0.032	-	0.037	-	0.027
	1月24日(木)	0.015	0.014	0.022	-	0.020	-	0.009
	1月25日(金)	0.019	0.020	0.034	-	0.026	-	0.025
	1月26日(土)	0.019	0.024	0.031	-	0.027	-	0.023
	1月27日(日)	0.011	0.018	0.022	-	0.019	-	0.010
	1月28日(月)	0.031	0.038	0.033	-	0.031	-	0.038
	1月29日(火)	0.026	0.024	0.032	-	0.031	-	0.034
	期間最大値	0.031	0.038	0.034	-	0.037	-	0.038
	環境基準	1時間値が0.20以下						

注) 網掛は期間中の各地点の最大値を示す。

表 16(2) 浮遊粒子状物質測定結果（自動車排出ガス測定局）

調査日（平成 31 年 1 月 23 日（水）～ 1 月 29 日（火））

単位：mg/m³

測定局・室名 調査日	⑱早稲田通り下井草	⑲谷原交差点	⑳長光寺橋公園	㉑大泉町四丁目	㉒大泉町三丁目	㉓大泉北小学校
1時間値の1日平均値	1月23日(水)	0.017	0.017	0.018	-	-
	1月24日(木)	0.006	0.006	0.008	-	-
	1月25日(金)	0.010	0.010	0.011	-	-
	1月26日(土)	0.009	0.009	0.017	-	-
	1月27日(日)	0.004	0.005	0.009	-	-
	1月28日(月)	0.014	0.018	0.016	-	-
	1月29日(火)	0.016	0.013	0.022	-	-
	期間平均値	0.011	0.011	0.014	-	-
	日平均最大値	0.017	0.018	0.022	-	-
	環境基準	1時間値の1日平均値が0.10以下				
1時間値の最大値	1月23日(水)	0.028	0.036	0.032	-	-
	1月24日(木)	0.010	0.014	0.022	-	-
	1月25日(金)	0.022	0.025	0.023	-	-
	1月26日(土)	0.021	0.021	0.079	-	-
	1月27日(日)	0.007	0.016	0.052	-	-
	1月28日(月)	0.029	0.034	0.043	-	-
	1月29日(火)	0.036	0.032	0.068	-	-
	期間最大値	0.036	0.036	0.079	-	-
環境基準	1時間値が0.20以下					

注) 網掛は期間中の各地点の最大値を示す。

表 17 二酸化窒素測定結果（一般環境大気測定局）
 調査日（平成 31 年 1 月 23 日（水）～ 1 月 29 日（火））

単位：ppm

測定局・室名		①和光	②赤塚	③北野	④北町	⑤練馬	
調査日	1月23日(水)	0.030	0.032	0.032	0.030	0.028	
	1月24日(木)	0.007	0.010	0.010	0.009	0.008	
	1月25日(金)	0.021	0.023	0.023	0.023	0.022	
	1月26日(土)	0.013	0.016	0.014	0.014	0.012	
	1月27日(日)	0.006	0.006	0.006	0.007	0.004	
	1月28日(月)	0.036	0.037	0.037	0.035	0.033	
	1月29日(火)	0.008	0.010	0.010	0.009	0.010	
	期間平均値	0.017	0.019	0.019	0.018	0.017	
	日平均最大値	0.036	0.037	0.037	0.035	0.033	
	測定局・室名	⑥豊玉北	⑦若宮	⑧石神井南 中学校	⑨石神井町	⑩大泉中 学校	全地点 平均
調査日	1月23日(水)	0.027	0.023	0.028	0.026	0.035	0.029
	1月24日(木)	0.007	0.005	0.007	0.007	0.007	0.008
	1月25日(金)	0.021	0.018	0.020	0.019	0.023	0.021
	1月26日(土)	0.012	0.012	0.013	0.013	0.013	0.013
	1月27日(日)	0.006	0.006	0.006	0.006	0.007	0.006
	1月28日(月)	0.032	0.027	0.030	0.029	0.034	0.033
	1月29日(火)	0.008	0.007	0.008	0.008	0.008	0.009
	期間平均値	0.016	0.014	0.016	0.015	0.017	0.017
	日平均最大値	0.032	0.027	0.030	0.029	0.035	-
	環境基準	1時間値の1日平均値が0.04から0.06までのゾーン内又はそれ以下					

注) 網掛は期間中の各地点の最大値を示す。

表 18 二酸化窒素測定結果（自動車排出ガス測定局）
 調査日（平成 31 年 1 月 23 日（水）～ 1 月 29 日（火））

単位：ppm

測定局・室名		⑪和光新倉	⑫三園	⑬相生町	⑭北町 小学校	⑮小竹	⑯くすのき 緑地	⑰高松 一丁目	
1 時 間 値 の 1 日 平 均 値	調査日	1月23日(水)	0.029	0.039	0.041	0.037	0.032	0.036	0.036
		1月24日(木)	0.009	0.014	0.011	0.013	0.010	0.012	0.012
		1月25日(金)	0.023	0.030	0.031	0.029	0.023	0.029	0.029
		1月26日(土)	0.012	0.019	0.015	0.017	0.016	0.018	0.018
		1月27日(日)	0.005	0.011	0.011	0.009	0.008	0.010	0.010
		1月28日(月)	0.034	0.044	0.041	0.038	0.035	0.042	0.042
		1月29日(火)	0.009	0.017	0.013	0.017	0.011	0.013	0.013
		期間平均値	0.017	0.025	0.023	0.023	0.019	0.023	0.023
		日平均最大値	0.034	0.044	0.041	0.038	0.035	0.042	0.042
測定局・室名		⑱早稲田通 り下井草	⑲谷原交差 点	⑳長光寺橋 公園	㉑大泉町 四丁目	㉒大泉町 三丁目	㉓大泉北 小学校		
1 時 間 値 の 1 日 平 均 値	調査日	1月23日(水)	0.030	0.036	0.033	0.033	0.031	0.031	
		1月24日(木)	0.013	0.011	0.010	0.008	0.007	0.006	
		1月25日(金)	0.027	0.028	0.025	0.031	0.021	0.009	
		1月26日(土)	0.018	0.015	0.014	0.012	0.011	-	
		1月27日(日)	0.009	0.008	0.007	0.007	0.008	-	
		1月28日(月)	0.032	0.037	0.034	0.035	0.036	0.034	
		1月29日(火)	0.012	0.011	0.009	0.008	0.008	0.008	
		期間平均値	0.020	0.021	0.019	0.019	0.018	0.017	
		日平均最大値	0.032	0.037	0.034	0.035	0.036	0.034	
	環境基準	1時間値の1日平均値が0.04から0.06までのゾーン内又はそれ以下							

注) 網掛は期間中の各地点の最大値を示す。

(3) 環境保全のための措置の実施状況

環境保全のための措置の実施状況を表 19 及び表 20 に示す。

なお、平成 30 年 4 月から平成 31 年 3 月末までの間に大気汚染に関する苦情は 1 件あり、表 21 に示すとおり粉じんに関する苦情であった。

表 19 環境保全のための措置の実施状況
(建設機械の稼働に伴う排出ガスによる大気質の状況)

評価書に記載した環境保全のための措置	実施した環境保全のための措置
最新の排出ガス対策型建設機械を、特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律に基づき使用する。	工事の実施にあたっては、最新の排ガス対策型建設機械を使用するとともに、建設機械は常に点検整備を行い、良好な状態で使用した。 (写真 1、2 参照)
粉じん防止用のネットシート、仮囲いを必要に応じて設置する。	高さ 3m の仮囲いを設置し、粉じんの外部への飛散を抑制した。 (写真 3、4 参照)
工事現場及び工事用道路には、必要に応じて散水し、粉じんの発生を防止する。	工事現場及び工事用道路において、必要に応じて散水を実施して粉じんの発生を防止した。 (写真 5 参照)
建設機械については、集中稼働しないよう工事内容の平準化及び機械の効率的な稼働に努め、アイドリング・ストップや不要な空ぶかしの防止を徹底する。 また、使用する燃料は、日本工業規格にあったものを使用する。	建設機械の配置については、一箇所集中稼働させないよう工区を分けて作業を行った。 また、アイドリング・ストップや不要な空ぶかしを行わないよう、作業員へ指導した。 なお、使用する燃料は、日本工業規格にあったものを使用した。

表 20 環境保全のための措置の実施状況
(工事用車両の走行に伴う排出ガスによる大気質の状況)

評価書に記載した環境保全のための措置	実施した環境保全のための措置
土砂運搬車両等、粉じんの飛散が起りやすい工事用車両には、カバーシートを使用し搬出する。	粉じんの飛散の起りやすい車両には、飛散防止のため荷台のシートかけを行い、粉じんの飛散防止に努めた。 (写真 6 参照)
土砂の資機材の搬出入車両のタイヤに付着した泥・土の水洗いをを行うための洗車設備を出口付近に設置し、土砂が周辺に出ないように配慮する。	土砂運搬搬出車両及び産業廃棄物搬出車両は、タイヤ洗浄を行い搬出した。 (写真 7 参照)
工事用車両の出入口付近には、適宜清掃員を配備し、清掃に努める。	工事用車両の出入口付近には適宜清掃員を配備し、清掃に努めるとともに散水・洗浄を行った。 (写真 8 参照)
工事用車両については、九都県市（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市）が指定する低公害車の使用、アイドリング・ストップの励行などを指導する	工事用車両は排出ガス規制適合車を用いるとともに、「環境確保条例」に定める低公害車を使用した。また、作業員へのアイドリング・ストップの励行を図った。 (写真 9、写真 10 参照)

表 21 苦情一覧（大気汚染）

番号	趣旨	対応
1	工事の影響による粉じんがある。	作業に関する指導の徹底及び適宜場内散水を指示した。



写真 1



写真 2



写真 3



写真 4

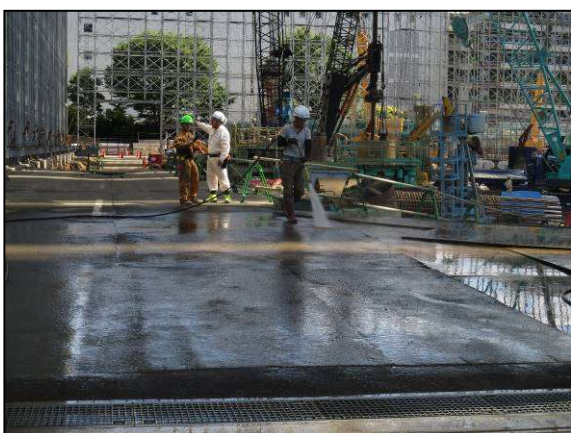


写真 5



写真 6



写真 7



写真 8



写真 9



写真 10

4.2 評価書の予測結果と事後調査の結果との比較検討

(1) 建設機械の稼働に伴う排出ガスによる大気質の状況

ア 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質の予測結果と事後調査結果の比較を表 22 及び図 9 に示す。

事後調査結果の期間平均値は、 $0.021 \sim 0.028 \text{mg/m}^3$ であり、予測結果と同等であった。建設機械の台数は予測時を上回ったが（表 9 参照、p 20）、最新の排ガス対策型建設機械を使用するとともに、一箇所で集中稼働させない等環境保全のための措置を徹底したことで、影響を抑えたと考えられる。

なお、事後調査の結果は 1 週間の調査結果であるため直接比較することはできないが、参考として環境基準と比較すると、事後調査結果の日平均値及び 1 時間値の最大値は、環境基準（1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m^3 であり、かつ、1 時間値が 0.20mg/m^3 以下）を下回っている。

表 22 予測結果と事後調査結果の比較（浮遊粒子状物質）

（単位： mg/m^3 ）

調査項目	調査地点	予測濃度		事後調査結果			バックグラウンド濃度	
		年平均値	日平均値の 2% 除外値	期間平均値 (7/20～7/26)	日平均値の最大値	一時間値の最大値	予測時	事後調査
浮遊粒子状物質	敷地境界北側	0.023	0.053	0.028	0.041	0.062	0.021	0.026
	敷地境界東側			0.021	0.034	0.045		
	敷地境界南側			0.027	0.041	0.056		
	敷地境界西側			0.022	0.036	0.057		

注 1) バックグラウンド濃度は評価書の p185 表 8.1-35 を引用した。

注 2) 予測濃度は評価書の p252 表 8.1-60 を引用した。

注 3) 表中の網掛けは予測濃度を上回るものを示す。

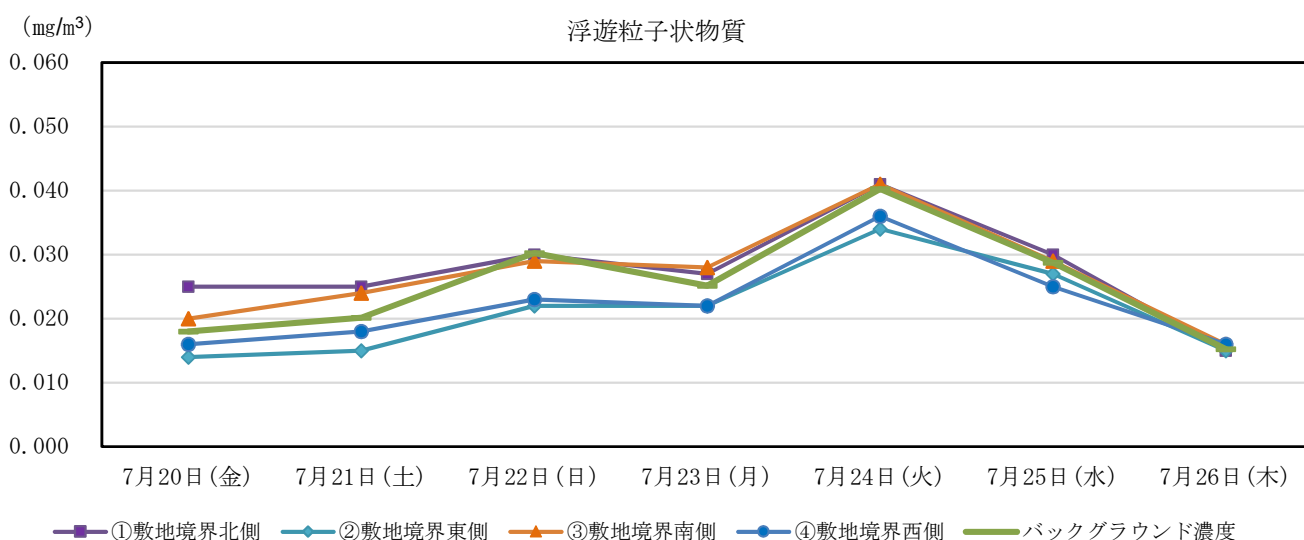


図 9 浮遊粒子状物質の比較図

イ 二酸化窒素

二酸化窒素の予測結果と事後調査結果の比較を表 23 及び図 10 に示す。

事後調査結果の期間平均値は、0.011～0.015 ppm であり、全ての調査地点で予測結果を下回った。

予測結果を下回った理由は、調査期間においてバックグラウンド濃度が低かったためと考えられる。

なお、事後調査の結果は1週間の調査結果であるため直接比較することはできないが、参考として比較すると、事後調査結果の日平均値の最大値は、環境基準（1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下）を下回っている。

表 23 予測結果と事後調査結果の比較（二酸化窒素）

（単位：ppm）

調査項目	調査地点	予測濃度		事後調査結果		バックグラウンド濃度	
		年平均値	日平均値の年間98%値	期間平均値(7/20～7/26)	日平均値の最大値	予測時	事後調査
二酸化窒素	敷地境界北側	0.027	0.045	0.015	0.018	0.019	0.009
	敷地境界東側			0.013	0.019		
	敷地境界南側			0.015	0.018		
	敷地境界西側			0.011	0.015		

注1) バックグラウンド濃度は評価書の p185 表 8.1-35 を引用した。

注2) 予測濃度は評価書の p252 表 8.1-60 を引用した。

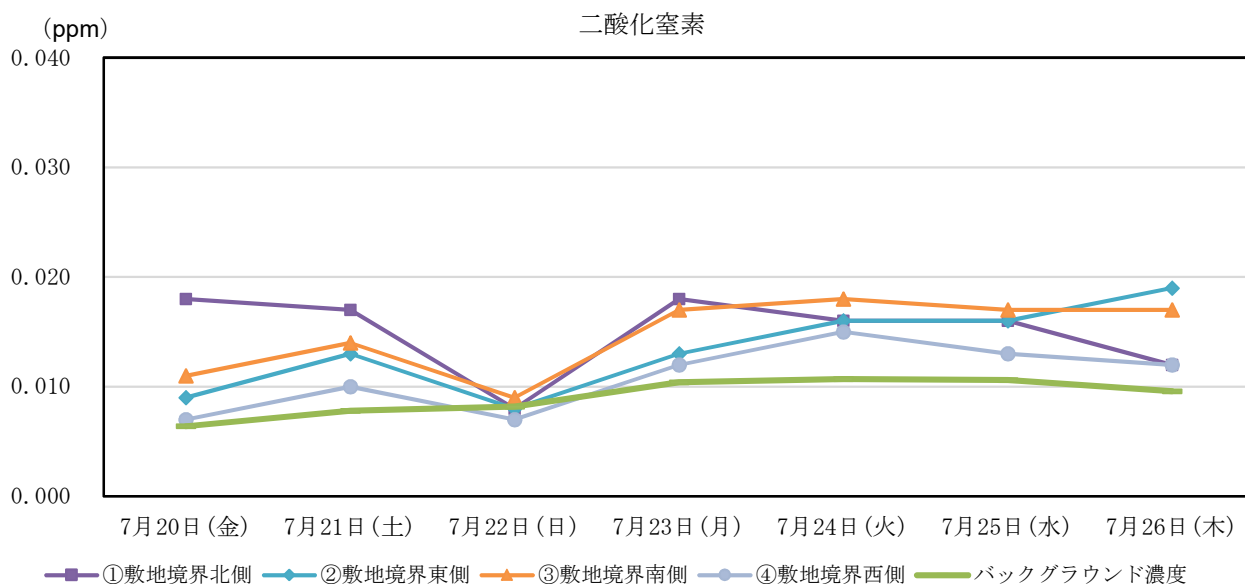


図10 二酸化窒素の比較図

(2) 工事用車両の走行に伴う排出ガスによる大気質の状況

ア 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質の予測結果と事後調査結果の比較を表 24 に示す。

事後調査結果の期間平均値は、0.009~0.011mg/m³であり、全ての地点で予測結果を下回った。

下回った理由は、調査期間においてバックグラウンド濃度が低かったためと考えられる。

なお、事後調査の結果は1週間の調査結果であるため直接比較することはできないが、参考として環境基準と比較すると、事後調査結果の日平均値及び1時間値の最大値は、環境基準（1時間値の1日平均値が0.10mg/m³であり、かつ、1時間値が0.20 mg/m³以下）を下回っている。

表 24 予測結果と事後調査結果の比較（浮遊粒子状物質）

単位：mg/m³

調査地点	予測濃度		事後調査結果			バックグラウンド濃度	
	年平均値	日平均値の2%除外値	期間平均値	日平均値の最大値	1時間値の最大値	予測時	事後調査結果
①旭町第二保育園前	0.021	0.052	0.009	0.015	0.035	0.021	0.013
②光が丘パークタウン大通り南前	0.021	0.052	0.010	0.015	0.030		
③光が丘春の風小学校前	0.021	0.052	0.010	0.015	0.029		
④光が丘第八保育園前	0.021	0.052	0.010	0.016	0.032		
⑤光が丘第二保育園前	0.021	0.052	0.011	0.016	0.031		
⑥赤塚新町三丁目	0.021	0.052	0.011	0.018	0.034		

注) 予測結果は評価書の p212 表 8.1-47 を引用した。

イ 二酸化窒素

二酸化窒素の予測結果と事後調査結果の比較を表 25 に示す。

事後調査結果の期間平均値は、0.012~0.022ppm であり、1 地点（地点⑥赤塚新町三丁目）で予測結果を上回った。

上回った理由は、車両によるものと考えられるが、工事用車両の混入率が 1.6% と低かったこととから、工事の影響は小さいと推定される。

なお、事後調査の結果は 1 週間の調査結果であるため直接比較することはできないが、参考として比較すると、事後調査結果の日平均値の最大値は、環境基準（1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下）を下回っている。

表 25 予測結果と事後調査結果の比較（二酸化窒素）

単位：ppm

調査地点	予測濃度		事後調査結果		バックグラウンド濃度	
	年平均値	日平均値の年間 98% 値	期間平均値	日平均値の最大値	予測時	事後調査結果
①旭町第二保育園前	0.021	0.040	0.020	0.036	0.019	0.017
②光が丘パークタウン大通り南前	0.020	0.039	0.012	0.029		
③光が丘春の風小学校前	0.020	0.039	0.018	0.035		
④光が丘第八保育園前	0.020	0.039	0.017	0.033		
⑤光が丘第二保育園前	0.020	0.039	0.017	0.035		
⑥赤塚新町三丁目	0.020	0.039	0.022	0.041		

注 1) 予測結果は評価書の p215 表 8.1-48 を引用した。

注 2) 表中の網掛けは予測濃度を上回るものを示す。